



空知川堤防決壊(北海道)H28.8



鬼怒川堤防決壊(茨城県)H27.9



那賀川氾濫(徳島県)H26.8

## “水害に強いまちづくり”のための 住民タイムライン作成と重点対策 ～私たちが出来ることから、始めよう～

第5回 水害に強いまちづくりワークショップ

平成29年1月15日

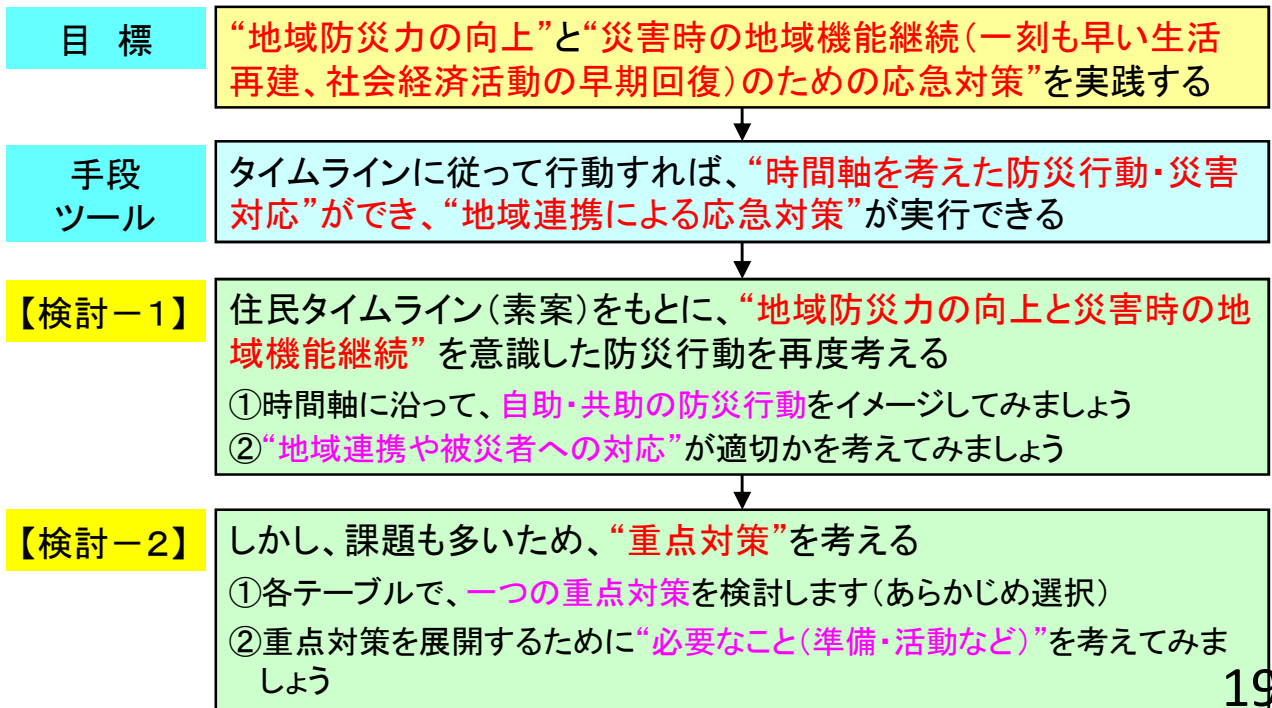
17

### ワークショップ検討の進め方

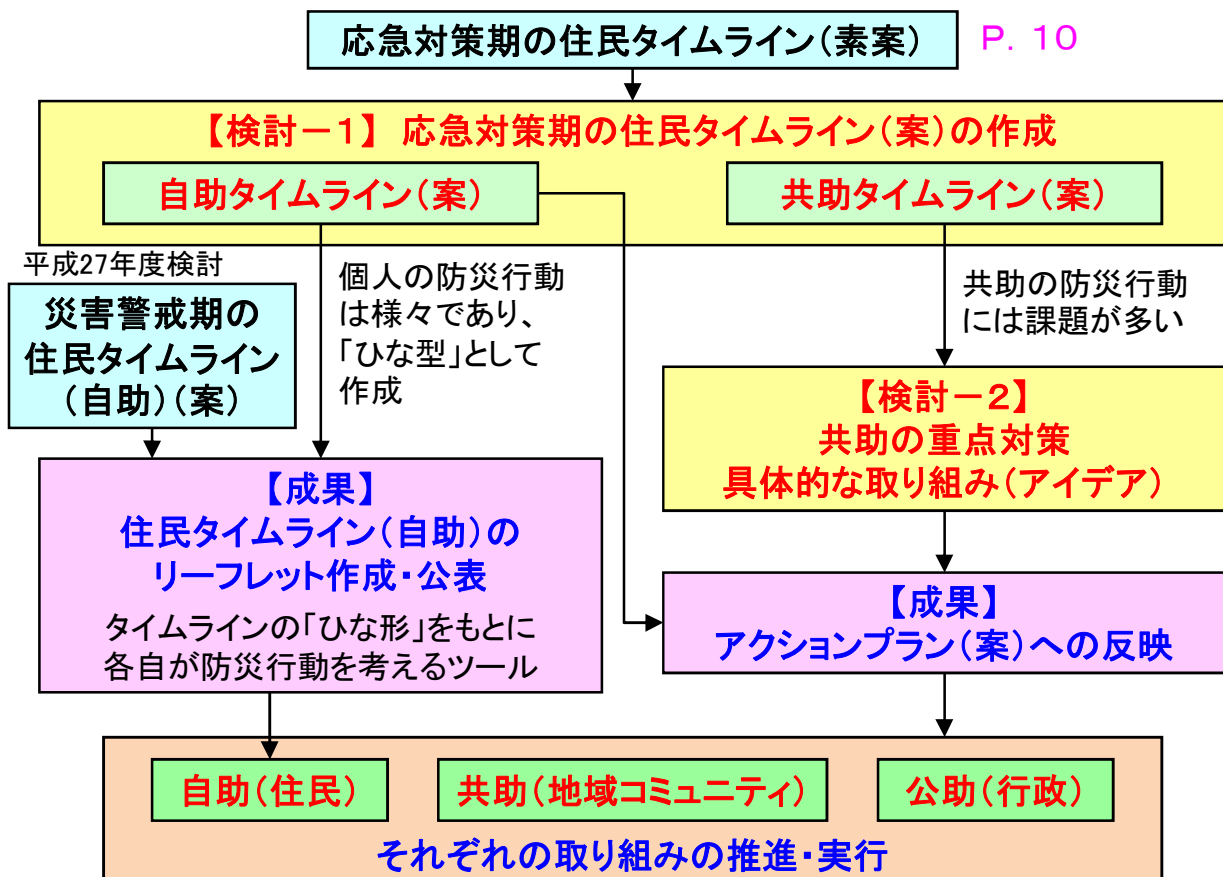
- |   |     |
|---|-----|
| 1) 概要説明<br>①ワークショップ検討の進め方と成果<br>②チェックイン (各テーブル)   | 15分 |
| 2) 検討-1 【住民タイムライン(素案)の検討】<br>①検討の内容: 住民タイムライン(素案)の確認と修正<br>②検討の方法: タイムラインシートに記入、意見カードに記入                                    | 45分 |
| <休憩>  | 10分 |
| 3) 検討-2 【共助による重点対策の具体的な取り組み検討】<br>①検討の内容: 重点対策3項目から1項目を検討<br>重点対策を展開するために必要なこと(準備・活動内容をアイデア出し)<br>②検討の方法: 意見カードに記入、意見カードの分類 | 50分 |
| 4) 全体ふり返り<br>①テーブル発表 ②本日のまとめ ③チェックアウト (各テーブル)   | 30分 |
| 5) おわりに<br>①今後の予定 ②丸亀市挨拶 ③主催者閉会挨拶(事務局)  | 5分  |
|   | 18  |

# ワークショップ検討の内容

＜検討テーマ＞：“水害に強いまちづくり”のための  
 住民タイムライン作成と重点対策  
 ～私たちが出来ることから、始めよう～



## ワークショップ検討の流れと成果



# 住民タイムラインのリーフレットのイメージ

## 【基礎情報】

土器川の特徴  
地域の特性

防災行動  
の留意点

避難の目安  
(避難のきっかけ・タイミング)

## 【ひな形】

住民タイムライン  
(自助)の「ひな形」  
災害警戒期～応急対策期

- ① 情報収集
- ② 避難の準備
- ③ 家族との連絡  
家族の安否確認
- ④ 自宅の水防活動  
自宅の片付け・修理
- ⑤ 早めの避難行動  
避難行動  
緊急避難行動
- ⑥ 避難者の生活

## 【各自で記入】

自分のタイムライン  
を考えて見ましょう

- ・「ひな形」の①～⑥を参考に、一連の防災行動を考える
- ・複合災害(河川氾濫、内水氾濫、土砂災害など)を踏まえて、避難行動(避難の目安、避難先)や被災後の対応を考える

第1回～第5回ワークショップで意見集約した結果(ピンク色の項目は、応急対策期の関連項目)

21

# アクションプラン【防災行動計画(案)】の重点対策

平成26～27年度 検討の 重点対策	検討 テーマ	重点対策	<H26検討>	<H27検討>
			公助(行政)による具体的な行動内容(準備・手順)	共助(地域コミュニティ)による具体的な行動内容(準備・活動)
住民意見の 追加反映 (地域住民 と地域行政 の連携)	テーマ1 【情報】 住民目線での災害情報のあり方	1) 土器川水位・危険情報表示板の設置	①下流での基準水位観測所(丸亀橋)の設定 ②避難時間を確保するための水位予測手法の検討(土器川本川および支川) ③危険情報の表示方法の検討	
	テーマ2 【連携】 地域コミュニティの活性化と地域連携体制の強化	2) 一時避難場所(3階建て以上)の設定	①事前調査:3階建て以上の建物調査 ②現地調査:住民意見の聞き取り調査、まち歩き ③一時避難場所の設定	
	3) 防災士等と連携した地域防災リーダー育成、地域防災力向上の仕組みづくり	①地域防災リーダーの育成 ②地域防災リーダーの育成 ③地域防災力向上の仕組みづくり	④地域コミュニティの組織体制の見直し ⑤交流活動の実施/イベントの活用 ⑥広報活動の実施/メディアの活用	
	4) 防災関係機関と地域コミュニティが連携した防災教育・訓練の仕組みづくり	①防災担当の配置 ②防災教育の実施 ③防災訓練の実施	④防災活動・防災訓練の実施 ⑤交流会・勉強会の実施	
	5) 災害時要配慮者や避難者の避難支援体制の整備	①災害時要配慮者リストの整備 ②地域連携による対応		
	6) 地域コミュニティや自主防災組織の横の連携強化		①連絡網・連絡手段の確保 ②学校や事業所との連携 ③役割分担の設定/担当者の確保	
	7) 地域コミュニティや自主防災組織を活性化するための仕組みづくり		①自治会に加入していない住民への対応/自主防災組織による対応	
	8) 防災関係機関と地域コミュニティが連携した情報共有の仕組みづくり	①事前事後情報の共有手段・内容の詳細設定 ②地域コミュニティの情報伝達体制づくり	③地域情報の周知	
	9) 事業所との連携強化(物資・食料、災害時対応協定等)		①協議会の設置 ③避難支援・避難誘導の方法 ⑤災害復旧の支援	②資機材や場所の提供 ④BCP対応と地域支援の配分調整

注) 赤字は、H27検討により追加した項目

平成28年度検討(応急対策期の防災行動)

【検討-2】「共助による重点対策の具体的な取り組み検討」  
で検討した取り組み内容(アイデア)

22

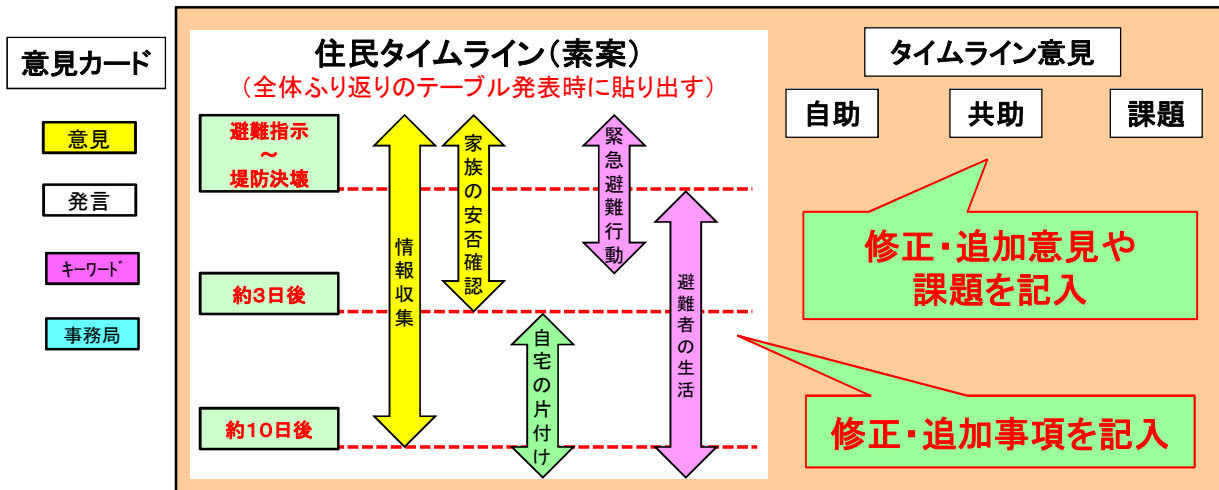
# 【検討－1】住民タイムライン（素案）の検討

## ～“地域防災力の向上と災害時の地域機能継続”

を意識した防災行動をもう一度、考えてみましょう～

- ①時間軸に沿って、自助・共助の防災行動をイメージする
- ②自分の住まいや職場を基準にして、“地域連携や被災者への対応”が適切かを考える

◆タイムラインシートに記入、意見カードに記入



23

# 【検討－1】住民タイムライン（素案）の検討

## <検討手順>

### ①タイムライン(素案)の構成を確認

- ・時間軸、各種情報(危険情報、災害情報、避難情報、応急対策活動、ニュース情報)、自助タイムライン、共助タイムライン(地域コミュニティ、事業所)

### ②“避難行動や連携体制”に着目し、記述内容を確認

- ・自助: 緊急避難行動(逃げ遅れ)、被災者の生活
- ・共助: 連絡網の再確認/連携体制の強化、避難所運営、緊急避難誘導(近隣の呼びかけ)、災害時要配慮者や被災者への対応、BCP対応/地域コミュニティとの対応

### ③防災行動についての意見交換 (タイムラインシートに記入、意見カードに記入)

- ・防災行動の項目や時間軸は適切か
- ・記述内容について修正や追加はないか
- ・事前に準備・対応が必要と考えられる項目に「赤シール」を貼り付け
- ・防災行動を実行する上での課題はないか

24

## 【検討－２】 共助による重点対策の 具体的な取り組み検討

### ～各テーブルで、重点対策を検討します～

- ・第4回ワークショップの意見を踏まえて、重点対策3項目の中から、テーブル毎に1項目を検討(あらかじめ事務局にて選択)

テーブル	重点対策3項目 (共助による取り組みが必要な3項目)	意見が出た テーブル
1	<p><b>地域コミュニティにおける横の連携体制(連絡体制)を強化するためには</b></p> <p>【対象】: 地域コミュニティ、自治会、自主防災組織、水防団(消防団)、医療・福祉関係者、学校関係者、女性、学生、香川県防災士会など</p> <p>【内容】: 連絡網、名簿リスト、役割分担、ニーズ調査、交流など</p>	1, 2, 3
2	<p><b>地域連携(防災関係機関、地域コミュニティ)による情報共有の仕組みを作るためには</b></p> <p>【内容】: 双方向、防災行政無線、ツイッター、被災情報、復旧情報、リアルタイム情報、予測情報、SOSサインなど</p>	1, 2, 3
3	<p><b>災害時要配慮者との横の連携体制(支援体制)を強化するためには</b></p> <p>【内容】: 避難支援、病院搬送、専門士派遣、名簿リスト、支援者、声かけ、応援・協力、単身(高齢)世帯、外国人、ボランティアなど</p>	1, 2, 3

25

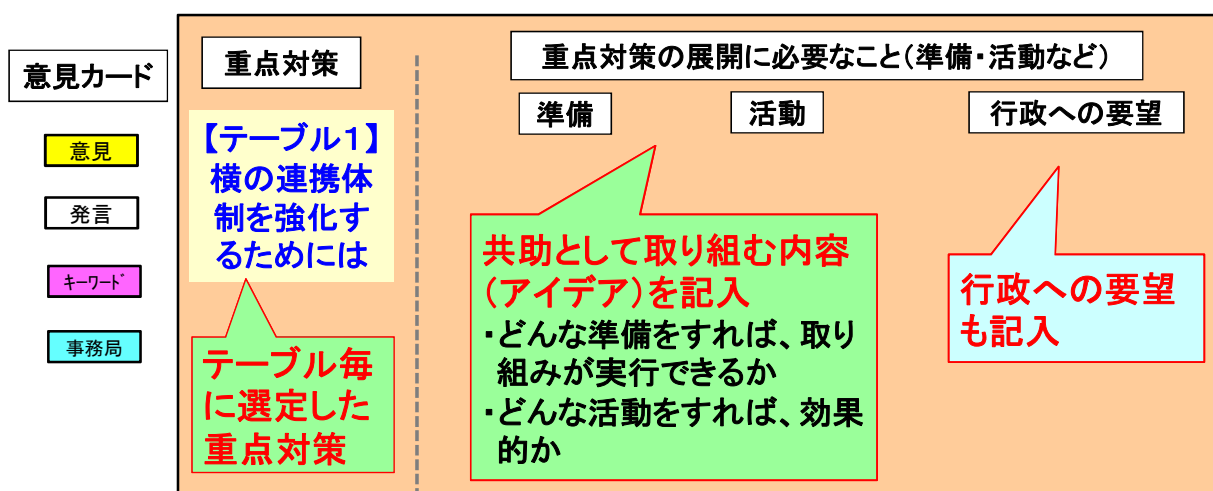
## 【検討－２】 共助による重点対策の 具体的な取り組み検討

### ～“重点対策”を展開するために

### 必要なこと(準備・活動など)を考えてみましょう～

- ① 共助(地域コミュニティ)として取り組む内容(アイデア)を考える
- ② 公助(行政)への要望があれば記入する

#### ◆「意見カード」に記入、「意見カード」の分類



26

# 全体ふり返り

## ① テーブル発表

- テーブル毎に発表（3テーブル×3分）

## ② 本日のまとめ

- ふり返り（ファシリテータ）
- 総評（会長）
- ワークショップ検討結果の報告
  - リバーキーパーズ通信、ホームページ等での結果報告
  - 「第6回 土器川における水害に強いまちづくり検討会」での結果報告、アクションプラン(案)への反映
  - 住民タイムラインのリーフレット作成に向けた検討

## ③ チェックアウト

- 各テーブルで、順番に全員が発言（一人1分以内）